

# 北小ものがたり



3月3日 ボランティア委員会が、1年間のできごとをまとめたメッセージをめぐみ荘に寄贈しました。

## 1年間を振り返る

近頃ずいぶん日が長くなり、冬至のころは弱々しかった太陽の光もすっかり力強さを増してきたように思います。「光の春」とも言われますが、近頃の日の光には春の確かな足音を感じさせます（ちなみに「光の春」の次は、「音の春」、「音の春」の次は「気温の春」の順番だそうです）。

2月も終わり、今年度の「振り返り」の季節となりました。学校行事でも最後の授業参観・PTA学年総会やまとめのテスト、第2回児童総会、最後の委員会活動、6年生を送る会など、本年度の活動を振り返る活動が盛んに行われています。

学習においても、「振り返り」活動はとても大切とされています。振り返ることは見通しをもつことと、学んだことを確認して次へつなげるという二つの役割があります。学習の始めにめあてを立て、1時間の授業の後で、何ができるようになったのかを振り返ることにより、次の学習での自身の成長や進捗具合が予想でき、次時に立てるめあてが根拠あるものとなります。「前時の振り返りをもとに本時の見通しをもつ→本時の振り返りをする→そして次の学習へつなげる」という流れになります。

このことは、最近学校教育で重視されている「自らの学習を調整」することとも関わってきます。自ら学習の調整ができるということは、自らの学習の状態を振り返ることにより分析し、それに応じて修正や工夫を加えながら自らの学習をつくっていくことともいえます。

話が若干それてしまいましたが、振り返るという活動は、次の行動の目標や計画を立て、到達点を決めるために必要不可欠なことです。そういった意味で、「振り返る」活動は、4月から始まる来年度の活動の成否をうらなう大切な活動といえるでしょう。

朝、児童玄関に立って登校してくる子どもたちとあいさつを交わしています。この1年間で成長した子ども達の姿に驚かされる瞬間があります。体の大きさももちろんですが、その行動や態度でもそれを感じることがあります。しかし、毎日少しずつ成長しているので、当の本人たちには成長の自覚はあまりないのかも

しれません。見守る周りの大人にしてもそうです。そういった意味から学校や家庭で意図的に子ども達の成長を見取り、また、子ども達に見取らせる機会を作ることとはとても大切です。年度終わりに行われる「振り返り」の活動は、成長を見取り、また、子ども達が成長を自覚する活動ともいえます。

各児童、各学級、学校、家庭や地域など、色々なレベルでこの時期、年度の振り返りが行われます。それぞれがこれらの振り返りの機会を大切に、実りある来年度のスタートを果たしてほしいと思います。

## 竜王北小ホームページから（各学年の記事を公開しています。）

### 1年生 「冬探し」「昔遊び集会」

1月21日、生活科「こうえんでふゆをさがそう」の学習において、ドラゴンパークで冬探しを行いました。

グループごとにつくった冬探しビンゴをもとに、

夏や秋とは違う冬の植物や生き物の様子を観察したり、霜柱など冬特有の自然を探したりしました。



「風がつめたいね。」「桜のつぼみをみつけたよ。」と、楽しみながら学習に取り組みました。

1月31日、昔遊び集会を行いました。

最近の子どもたちが知らないたくさんの昔ながらの遊びを、おじいちゃんやおばあちゃん、お母さんたちが先生となり教えてくれました。

ゴム跳び、はねつき、あやとり、だるまおとし、



お手玉、こま、けん玉、おはじきを体験しました。慣れない遊びに苦戦しながらも、声を掛け合い

楽しく活動することができました。

ご協力いただいた保護者の皆様、地域の皆様、ありがとうございました。

### 4年生 福祉体験

4年生は総合的な学習の時間に、高齢者や障害のある方々について考える学習をしています。

2月5日(水)の授業参観では、視覚障害者の白濱顕子さんを講師に迎え、お話を伺いました。

生活上の苦労や努力に気付き、工夫して生活し

ていることが分かりました。視覚に障害がある方には、「イメージを言葉にして伝える」ことが大事だと教えていただきました。思いやりの気持ちをもって、進んで手助けをしたいという思いをもっていました。



2月10日(月)には点字の体験をし、点字の読み方・書き方を学びました。

普通の文字(墨字)と点字の違いや、6つの点を組み合わせで「あいうえお」だけでなく、「数字」



や「アルファベット」も表せることが分かりました。点字板と点筆を使って、一つ一つ確かめながら、右から

左に点字を書きました。点字の名刺作りもしました。身の回りの点字にも興味をもち、実際に探してみたという児童もいました。

2月17日(月)には、「山梨ボッチャの会」の方々に講師に迎え、「ユニバーサルボッチャ」をしました。

すぐにルールを理解し、作戦を立てる様子も見られました。「楽しかった!!」という感想が多く、子どもから大人まで、障害があってもなくても、みんなが楽しめるスポーツであることを感じていました。

